

「福祉体験学習」高齢者疑似体験学習を行いました

10月15日(火)東原庁舎中央校5年生(89名)を対象に、福祉講座をおこないました。

① 装具を身につける
「重い…」



② 階段の上り下り
「きつい…」

③ ビーズを掴む
「難しい…」
「色がわかりにくい」



④ 本を読んでみる
「字が読みにくい」



高齢者疑似体験を通じて・・・

「つかれた」「きつかった」「すぐ座りたかった」
「おじいちゃん、おばあちゃんの気持ちが分かった」と、日頃の高齢者の気持ちを体験しました。これからは、「声をかけてあげたい」「手をつなぐ、荷物を持つなど手伝ってあげたい」など感想を発表してくれました。
子どもたちのふくしの心で、温かな地域社会づくりに繋がることを願っています。

《ふりがえり》 体験してきて...

①

- ・重たい。
- ・歩くのが大変。
- ・背がきつかった。
- ・階段がきつかった。
- ・手や足が重たい。
- ・足がきつかった。

②

- ・いらした。
- ・階段でつまずいた。
- ・歩くのが大変だった。
- ・いきなり倒れてしまった。
- ・さうがきつかった。
- ・むねがきつかった。
- ・身がこわかった。

③

- ・音が聞こえなかった。
- ・手をつなぐのが大変だった。
- ・道がわからなかった。
- ・下を歩いた。
- ・声がかた。
- ・一歩も歩けなかった。
- ・小さい文字が読めなかった。
- ・平仮名が読めなかった。
- ・大きい字は読めた。